

資源循環局都筑工場に行ってきました♪

5月29日(月)、社会科「ごみはどこへ」の学習の一環で、資源循環局都筑工場に行きました。家庭や学校、施設などから出されたごみがどのように処理されていくのか、見学を通して理解を深めることができました。



【4年生児童の感想より一部抜粋】

- ・おうちの人がない中で、初めて青葉台駅集合と、学年で電車に乗るという挑戦ができてよかったです。
- ・ごみピットは、10階建てのマンションがすっぽり入るくらいの大きさということにびっくりしました。
- ・ごみクレーンは3トから10ト運べると知り、びっくりしました。
- ・工場は365日24時間動いていることを知りました。
- ・ごみには色々な種類があることや灰になって埋め立てられることが分かりました。
- ・いつも気にしていなかったごみが、いろいろな人の手によって処理されていることが分かりました。
- ・がんばって働き、ごみに関する仕事をしてきている人に、感謝の気持ちを伝えたいと思いました。
- ・生ごみにふくまれている水分が多く、ごみが燃えにくくなってしまい工場の人々が困っていることが分かりました。家に帰ったらお母さんに、生ごみはしほることを教えたいです。

